

山行番 NO. 1722
日 時 2017. 1. 28 (土) 無風快晴高温
山 域 石割山 (1412m) ~日向峰・南尾根下降
コース 三島駅北口6:15-交流プラザ「きらら」7:30-湖北-大平山ハイキングコース入口8:
30-大平山9:40-平尾山10:20-石割山10:50-11:50御正体山方面-14:
00道志みち-石割の湯-下土狩17:00 (反省会あり)
標高差 上り=湖北1018m~石割山1412m=約400m (ただし長い)
下り= "
参加者 後藤 (L)、勝又、小島、峰田、長谷、加藤 (2月入会) = 6名

リベンジしました

昨年、雨天および参加者少のため延期になっていた、石割山。

週半ばまで、寒波が来ており、前日は、強風であったが、今日は、快晴、無風、3月並みの気温。

「きらら」に駐車した時点では、太陽が、山の陰でまだ寒い。辺りには、結構雪が残っており、本日は雪まつりが開催されるようである。湖面をみると、見事な逆さ富士。カメラマンにまじり、写真を取る。サイクリングロードを登山口まで歩く。湖面は氷が張っていた。

ずっと富士山が山中湖を超えた正面に見え、素晴らしい景色だ。つつい写真も撮りたくなる。

1時間ほど歩き、大平山ハイキングコース入口へ。途端に道路にも雪が残っており歩きにくくなる。

林の手前で、スパッツを付け、上着をぬぐ。登山開始だ。

雪道と、凍った土と、ぬかるんだ土がかわるがわるあらわれ、しばらく行くと大平山が左に見えてくる。

最後は、階段になっているが、ほぼ雪に覆われ、登りやすい。

頂上は、絶景だ。まるで富士山を見るための山のような。



お見事!!!



大平山

記念写真を撮り、隣の山へ。

尾根だから楽だよ、の言葉は、すぐに撤回され、魔の階段が現れる。雪でそこそこ覆われた急な階段を一度下りまた登り返す。きつくて、きつくて、2回も滑ってしまい、下ばかりみていたら、やっと平尾山に到着。ここもまた、頂上は、絶景だ。湖越しに見える富士山が美しい。

お腹もすいてきたが、目指すは、石割山。

やはり少し下りまた登り返す。階段ではないが、ほぼ雪道で、滑らないようにゆっくり登る。

初めから、軽アイゼンをつけたSKさんは、安定した登りである。

途中、下から見えた別荘地があり、登山道の直ぐ脇に除雪された道路が通っていた。

よろよろと登り続けると急に人の声が聞こえ、石割山に着いた。頂上には、たくさんの登山者がいた。

今日は、富士山の展望がいいですからね。しかし、殆どのグループが、私たちとは、逆の、富士山を見ながら歩くコースだ。やはり、富士山の眺望がいいと人気があるのだろう。

少し下った、鉄塔のところで、昼食にする。私は、マットがあったが、雪の上は、冷たいので、鉄塔の柱に座ったSKさんとHKさんは、低い柱に頭をぶつけました。大丈夫だったでしょうか？

HKさんの差し入れのシシャモといわしをおいしく頂き、やや早めだが、下山することにする。



昼食



シシャモ焼



ザックザック上る



御正体山 (みしょうたいさん)

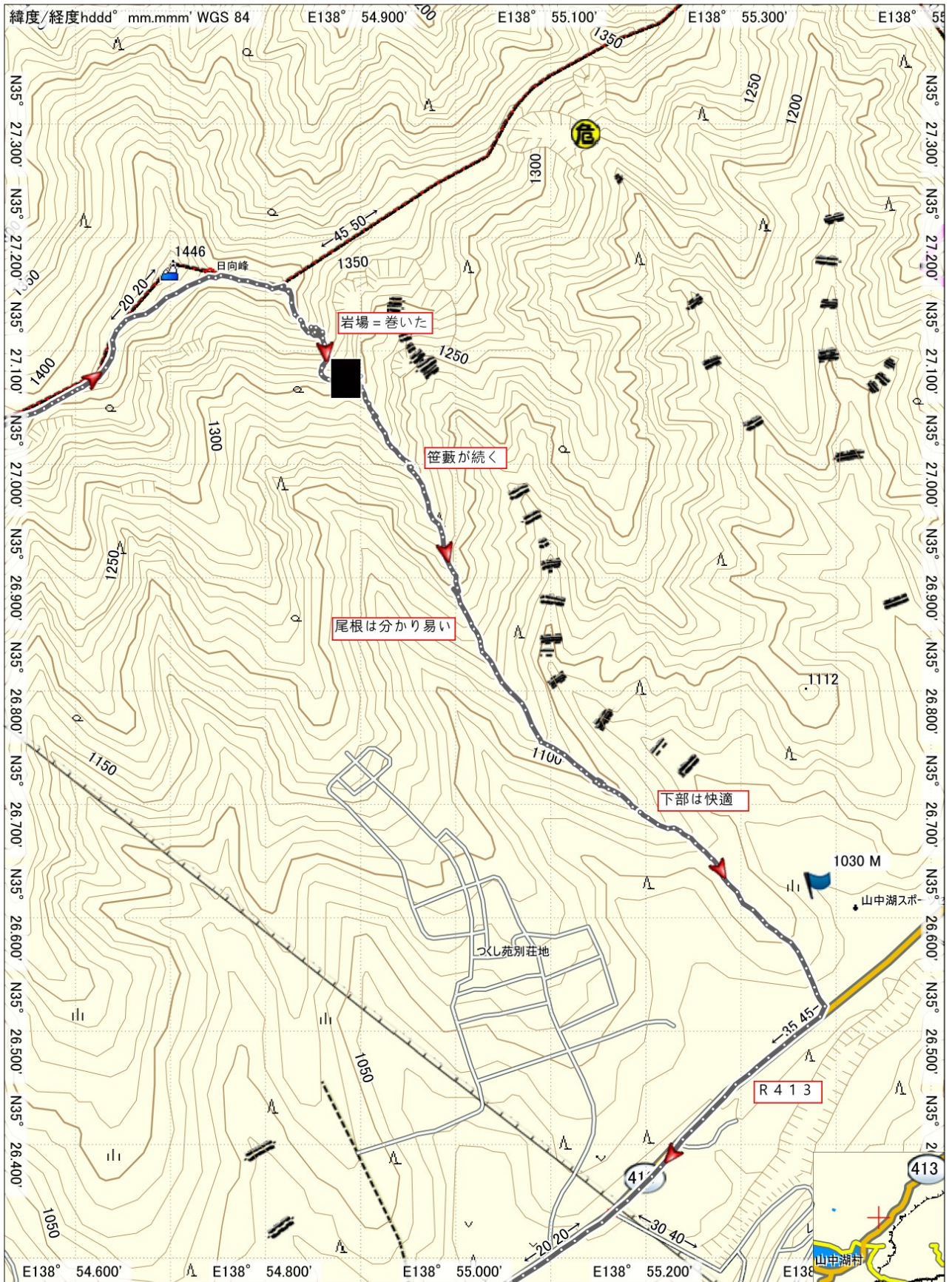


日向峰・南尾根

GLによりアイゼンを装着。今日は、冬山訓練ですからね。YKさんは、16kgも担いできたそうです。石割山入り口の道標に誘われ下りかけたが、もどり、御正体山方面へ下る。GPSのおかげ。しばらく行くと左右の分かれ道。本来のルートは、左のようだが、右のほうが、近そうだ。ここで、いつものとおりGLは、新しいルートを選ぶ。チャレンジャーですね。笹藪があるけど近いならと全員でそちらに向かう。本当に、笹の藪の中をずっと進む。岩をよけるため、GLがザイルを用意してくれザイルにつかまり、雪崩をおこし、下のルートにたどり着いた。やれやれ。その後、笹の藪の中まだまだ進む。そのうちやっぱり足が疲れてきて、左右のアイゼンが引っ掛かり転倒。藪で、あたりが、見えないので、GLが「物を落とさないように」と指示。なぜか、その途端SKさんのアイゼンが片方落ちているのを発見。すぐでよかった。GLの勤は、すごい。やっと道路に出た。ここから、道志みちの車道を延々歩く。30分程黙々と歩くと石割の湯の看板が。ここで、GLが、「車取ってくるから、待っていていいよ」と寛大なお言葉。その後30分程かかかきようやくGLが車で到着。30分で温泉に入り、(流石800円で、いいお湯でした。) 帰路につきました。



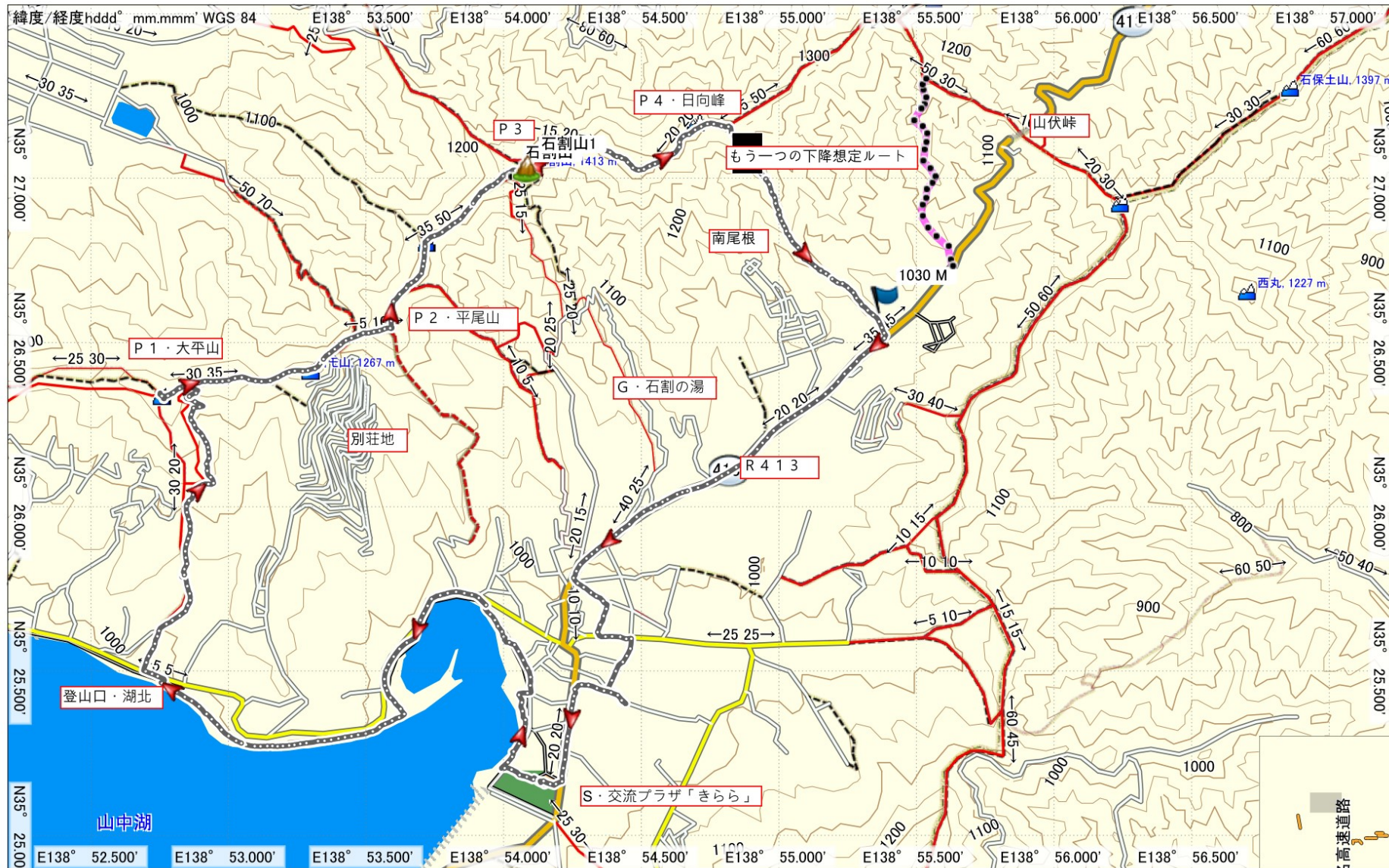
大平山
撮影=HK



Japan Topo 10M Plus V3
 CanvasMaple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

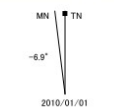
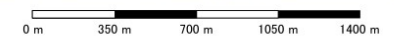
2017/01/29 6:29:55

GARMIN



Japan Topo 10M Plus V3
 CanvasMapple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2017/01/29 6:29:55



GARMIN

